

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
楽器レッスン 1 (Gt)											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	鳥居 隼			実務経験	有	職種	ギタリスト				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
有名なコードリフ、ギターソロには、リスナーに訴えかけるノウハウが沢山詰め込まれています。この科目を受講する学生は、ギターという楽器により強く興味を持ち、ギターを使って様々な楽曲や演奏スタイルに触れることで、ギタリストの視線から作曲・アレンジ力を養っていくことを目的とする。ギターの上達には、能動的な態度で音楽に向きあうことが必須である。日々生まれる疑問点を、毎回の授業で手厚くサポートし、個々の実力アップに集中できる講義。											
到達目標											
ギタリストとして必要な基本的な知識とテクニックを習得することを目標とし、プロギタリストとして、なにが必要なのか。習得すべきテクニック、スキルは何かを自覚できるようになる。											
授業方法											
この授業では、演奏の基礎となるチューニングの仕方から始めます。ギターを演奏する度に出てくる疑問点、より自分をプレイを良くする為には、何が必要なのか？この授業で深く掘り下げます。コードワークとメロディワーク、音楽を奏でる動機付けとなるフレーズなど多くのジャンルから紹介していく。簡単なリズムトレーニングなどについて触れて行く。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、理由のない遅刻・欠席は認めない。また学生間、講師と学生とのコミュニケーション力向上のために、なるべく自己から発言する機会を増やして行く。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ギターという楽器の歴史、種類、演奏スタイルの紹介など。また個々の目標設定とその確認。										
第2回	チューニングの仕方、譜面（タブ譜）の読み方。										
第3回	パワーコードを使った楽曲演奏 その1										
第4回	パワーコードを使った楽曲演奏 その2										
第5回	ローコードを中心とした楽曲演奏 その1										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
楽器レッスン1 (Gt)	
第6回	ローコードを中心とした楽曲演奏 その2
第7回	コードリフの練習 その1 『Get Back』
第8回	コードリフの練習 その2 『Get Back』
第9回	有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その1 『Get Back』
第10回	有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その1 『Get Back』
第11回	コードリフの練習 その1 『Day Tripper』
第12回	コードリフの練習 その2 『Day Tripper』
第13回	マイナーペンタトニックスケール その1
第14回	マイナーペンタトニックスケール その2
第15回	全体のまとめ

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
楽器レッスン1 (Key)											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	田中綾美			実務経験	有	職種	キーボーディスト				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、鍵盤楽器におけるあらゆる基礎となる知識について学び、特に曲作りにおいて重要な役割を担うものです。と同時に、音楽においてだけでなく、実社会において全ての事象には学ぶことや、考えること、思考の必要性の重視も説いていく事を目的とします。											
到達目標											
この科目では、学生が鍵盤楽器の奏法を学ぶ事と、曲づくり、アレンジにおいて必要なことを鍵盤を使って学び実践して行く事を目標とします。											
授業方法											
この授業では、鍵盤楽器を使って様々な音楽的素養と、演奏技術、作曲、アレンジ技術を身につける。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	鍵盤の押さえ方の基本を学び、脱力法を習得する										
第2回	伴奏の基本である、四分打ちを学ぶ										
第3回	四分打ちの応用パターンの作り方を学ぶ										
第4回	アルペジオ奏法の基本を学ぶ										
第5回	アルペジオ奏法を実践的なアプローチをどう生かすかの応用										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
楽器レッスン1 (Key)	
第6回	スクエアな楽曲、主にロックなテイストの曲での伴奏法
第7回	16ビートのノリでの伴奏とグルーブの基本
第8回	ハネたビートでの伴奏法とノリの基本を学ぶ
第9回	ハネてない伴奏とハネてる伴奏の違いを学ぶ
第10回	ジャンル別の伴奏の違いについて学ぶ 1
第11回	ジャンル別の伴奏の違いについて学ぶ 2
第12回	コードとメロディーの関係性と、双方について 1
第13回	コードとメロディーの関係性と、双方について 2
第14回	実演の総復習
第15回	総復習

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
楽器レッスン1 (Vo)											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	湯舟春菜			実務経験	有	職種	ヴォーカリスト				
担当教員紹介											
幅広い表現で世界観を作り出すシンガー。作詞作曲の業務経験もあり様々なCM、映画音楽の歌唱や楽曲提供を行っている。											
授業概要											
ボーカリスト、シンガーとしてのスキルを向上させる。1. 正しい発声法を学ぶことにより、ピッチコントロールがうまくできるようになる。2. 喉の筋肉を鍛え、喉や体の正しい使い方を学ぶことにより、長く歌っても枯れづらい喉を作る。3. リズムやグルーブ、声の出し方などのニュアンスを学び、表現力を身につける。											
到達目標											
自分の理想とするボーカリスト、アーティストに近付き、プロの現場でも通用する技術、姿勢を身につける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
この授業は基本的にはマンツーマンで、発生からそれぞれの生徒に合ったレッスン方法で指導していく。楽曲に関しては、基本的には生徒のやりたい楽曲で進めていくが、苦手な分野や克服したいポイントがあればその都度生徒に合った課題曲と一緒に考え、順庵精を持って指導していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グルーブワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
生徒が持つ個性を大切にし、そこをどううまく活かしていくかを念頭に指導していく。各学生が目指しているところが違うため、まず到達点をどこにするのか(シンガーソングライターなのか、またそれはどういうスタイルのものか)等、細かくを密に話し合いながらレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる										
第2回	公開レッスン方式で実際に発声法を取り入れて実践する										
第3回	学籍番号によって個人レッスンを行う										
第4回	動画を必ず撮って個々の課題を振り返る										
第5回	エクササイズの割り当て										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
楽器レッスン1 (Vo)	
第6回	曲に応じた美しいフレーズの語尾を考える
第7回	任意の曲でフレーズのまとまりを考える
第8回	ビブラートをうまく使う
第9回	フレージングを考えながら歌う
第10回	エクササイズの割り当て
第11回	学生の悩み等聴きながらレッスンを行う
第12回	声域の広げ方を学ぶ
第13回	指定した曲をこれまでの発声法等を意識しながら歌う
第14回	声帯の動きを理解し、意識しながらの歌唱実習
第15回	前期を振り返っての個々の発表